

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2004-71131 (P2004-71131A)
 【公開日】平成 16 年 3 月 4 日 (2004.3.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-009
 【出願番号】特願 2003-5227 (P2003-5227)
 【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 5/716

G 1 1 B 5/706

【F I】

G 1 1 B 5/716

G 1 1 B 5/706

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 27 日 (2004.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

ここで、前記第 2 磁性層（上層）の前記磁性粉中に含有される Co は、前記 Hc（B）及び前記 s（B）の向上、及び結晶粒径の低減に寄与し、磁気記録媒体の保存特性を示す s の低下を回避するのにも有効に作用するが、Co が 3 at. % 未満ではこのような作用効果を十分に得られないことがある。また、Co が 50 at. % を超えると、逆に保磁力 Hc（B）が低下するようになる。従って、前記上層の前記磁性粉中に含有される Co 量は、3 at. % ～ 50 at. %、より好ましくは 5 ～ 40 at. %、更に好ましくは 5 ～ 35 at. % であることが好ましい。ここで、at. % は原子数の百分率である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 5 2】

図 14 は、下記表 23 に示すように、上層の Hc（B）を 130 kA/m と固定し、下層の s（A）を 110 Am²/kg とし、上層の s（B）を 120 Am²/kg と固定し、さらに下層の厚みを 2.5 μm 及び上層の厚みを 0.5 μm と固定し、下層の Hc（A）/ 上層の Hc（B）を変化させたときの電磁変換特性のグラフである。また、下記表 24 にも結果を示す。